

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月10日更新

事務事業名		関東合志会運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	市長公室	課長名	塚本 健洋
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	秘書政策課	担当者名	鶴田 裕之
	施策の柱	2	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	秘書政策班	(内線)	1213
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10338	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市出身及び合志市にゆかりのある関東在住の人々が相集い、ふるさと合志市の発展と会員相互の親睦を深めるため、年1回総会及び交流会、年2～3回程度の役員会が開催されており、その運営に対する支援を行う。平成3年に関東在住の西合志町出身者・合志町出身者の方がふるさとを思う同郷の方が集まる場が欲しいとの要望からそれぞれの町で開始されていたが、平成18年合併して合志市となり関東合志会として新たに発足した。
【業務の流れ】	会の運営に対する補助金の交付。また、市長、議長、担当職員等が関東合志会会員が集う年1回(8月)の総会及び懇親会へ参加し、合志市の近況報告、ふるさと納税のお願い、物産品の紹介などを行い、会員との情報交換を行う。また、希望者へは市の広報紙を毎月、送付している(郵送料は自己負担)
【主な予算費目】	【款】2総務費 【項】1総務管理費 【目】1一般管理費 【節】9旅費 10交際費 19補助金
【意見や要望】	総会を開催することにより、合志市の状況を直接詳細に聞くことができるため、ふるさとを想う気持ちが強まる。また、市側も情報を提供することにより特産物などのPR活動に繋がるいい機会にもなるため、継続を望む声強い。また、議会から会の存続のため、会員の増加を検討するように要望されている。会からも出来るだけ合志市のアピールを関東地区で行なえるよう会員の増加と協力者を募ることを行なってみたいとの提案があった。会の存続、発展のために市内・関東地方での広報、市HPや、知り合いの紹介などツテや口コミによる周知、サポートについては「東京ネットワーク」とのつながりや情報交換を行っていく必要がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	今年度は新型コロナウイルス感染症のため事務局より総会中止の連絡があった。補助金については、辞退するとのことであったため、支出しなかった。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 総会へ市からも参加し、会員との交流や市発展、会員増加のための協力依頼。また、ふるさと納税の依頼を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 総会など開催回数 イ:	予算の主な増減の理由 航空運賃の値上がりによる旅費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 関東合志会会員	(単位) 人 ア: 関東合志会会員数 イ:	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 関東合志会会員数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 総会の際に、市の情報を定期的に得ることにより、遠く離れた故郷への想いをもち続けることができる。また会員相互の連帯感も生まれる。また、市の災害など有事の際に、会からの支援を行ってくれる。	(単位) % ア: 総会等の会合への参加割合 イ:	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 総会等の会合への参加割合 イ:
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度 実績(決算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	6年度 予定	7年度 見込	8年度 見込	
① 活動指標	ア	回	0	0	1	0	1	1	1	0	
	イ										
② 対象指標	ア	人	176	176	185	176	185	185	185	185	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	0	0	60	0	60	60	60	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円			445		477	1,089		
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	445	0	477	1,089	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	0	79	0	79	79	79	79
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	524	0	556	1,168	79	79	

事務事業名	関東合志会運営支援事業	所属部	市長公室	所属課	秘書政策課
-------	-------------	-----	------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 今年度は会議の開催が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかったため、達成できなかった。
	② 5年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 会自体の平均年齢が年々上昇しており、退会する会員が増えてきたことに加え、新たな会員の加入が少なく会員が減少しているため、目標達成は難しいと見込んでいる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 合志市出身者を把握し、会への支援（運営費補助をはじめ広報等で周知を行い加入促進を促す）を行うことにより会員の確保・拡充を図る。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限度の補助金による支援である。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人員の参加である。また、アウトソーシングはなじまない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 会員全員が対象である。また、総会参加費や広報発送料は個人の自己負担であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 支援事業であるため、民間への移行は難しい。

3 評価結果の総括 (CHECK)

関東で合志市の情報が少ない中、広報官を通じ合志ニュースの発行や、合志市の現状や現在の取り組み、出来事などを知らせるとともに、ふるさと納税の案内を行っている。また、いろんな場で活躍されている方々との交流を図ることを目標としている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						